

令和6年2月21日

保護者様

横浜市立師岡小学校

校長 能城 順一

### 「子どもたちの健やかな成長のために」アンケート結果報告

保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。さて、12月に「子どもたちの健やかな成長のために」というアンケートを取らせていただきました。ご多用の中、ご回答いただきありがとうございます。アンケート結果をご報告させていただきます。

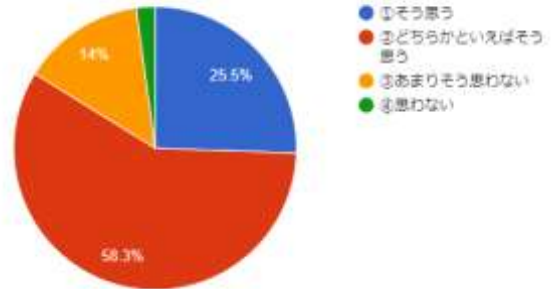
<p>①学校は、学校教育目標について分かりやすく伝えている。 (さらに笑顔あふれるもろおかつこ)</p> <p>(①② : 93.2%)</p>	<p>②学校は、教育活動についての連絡や発信を行っている。</p> <p>(①② : 94.7%)</p>
<p>③学校は、授業参観や運動会などを通して、開かれた学校づくりをしている。</p> <p>(①② : 93.5%)</p>	<p>④学校は、地震や火事、不審者が来たときに備えて、対応ができるように努力している。</p> <p>(①② : 88.5%)</p>
<p>⑤学校は、年2回のYP(横浜プログラム)の実施やこども相談、いじめ解決のための生活アンケートなどを通して、いじめの未然防止対策を行っている。</p> <p>(①② : 83.5%)</p>	<p>⑥学校は、PTAや学校運営協議会および地域コーディネーターと連携し、学校運営を地域と連携して行うようにしている。</p> <p>(①② : 94.2%)</p>

⑦学校は、ロイロノートやGoogle classroomで教員と児童と情報のやり取りを行い、子どもの学びを深めようと努めている。



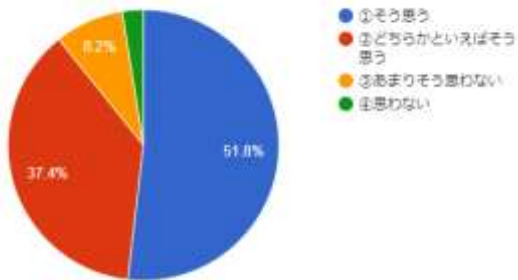
(①② : 76.2%)

⑧学校は、「だれもが」「安心して」「豊かに」学べる授業づくりを意識し、分かりやすい授業をするようにめざしている。



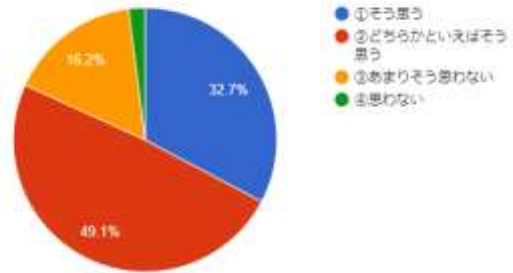
(①② : 83.8%)

⑨子どもは、学校へ行くことを楽しんでる。



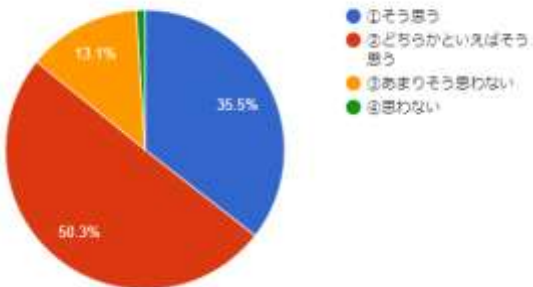
(①② : 89.2%)

⑩子どもは、よくあいさつをしている。



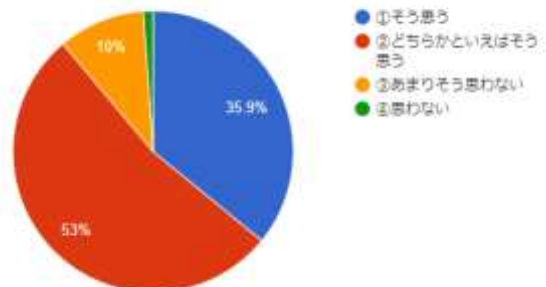
(①② : 81.8%)

⑪子どもは、ありがとうを意識している。



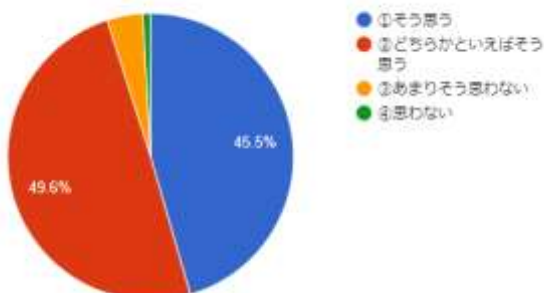
(①② : 85.8%)

⑫子どもは、健康に気をつけ、規則正しい生活を送っている。



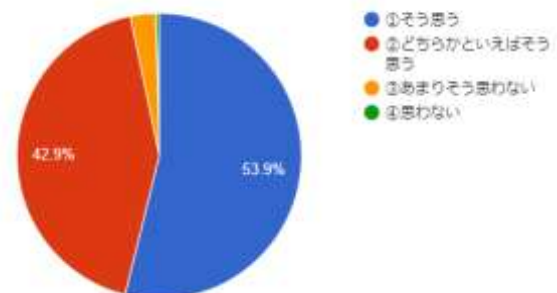
(①② : 88.9%)

⑬子どもは、友だちと助け合い、協力し合って仲よく活動している。

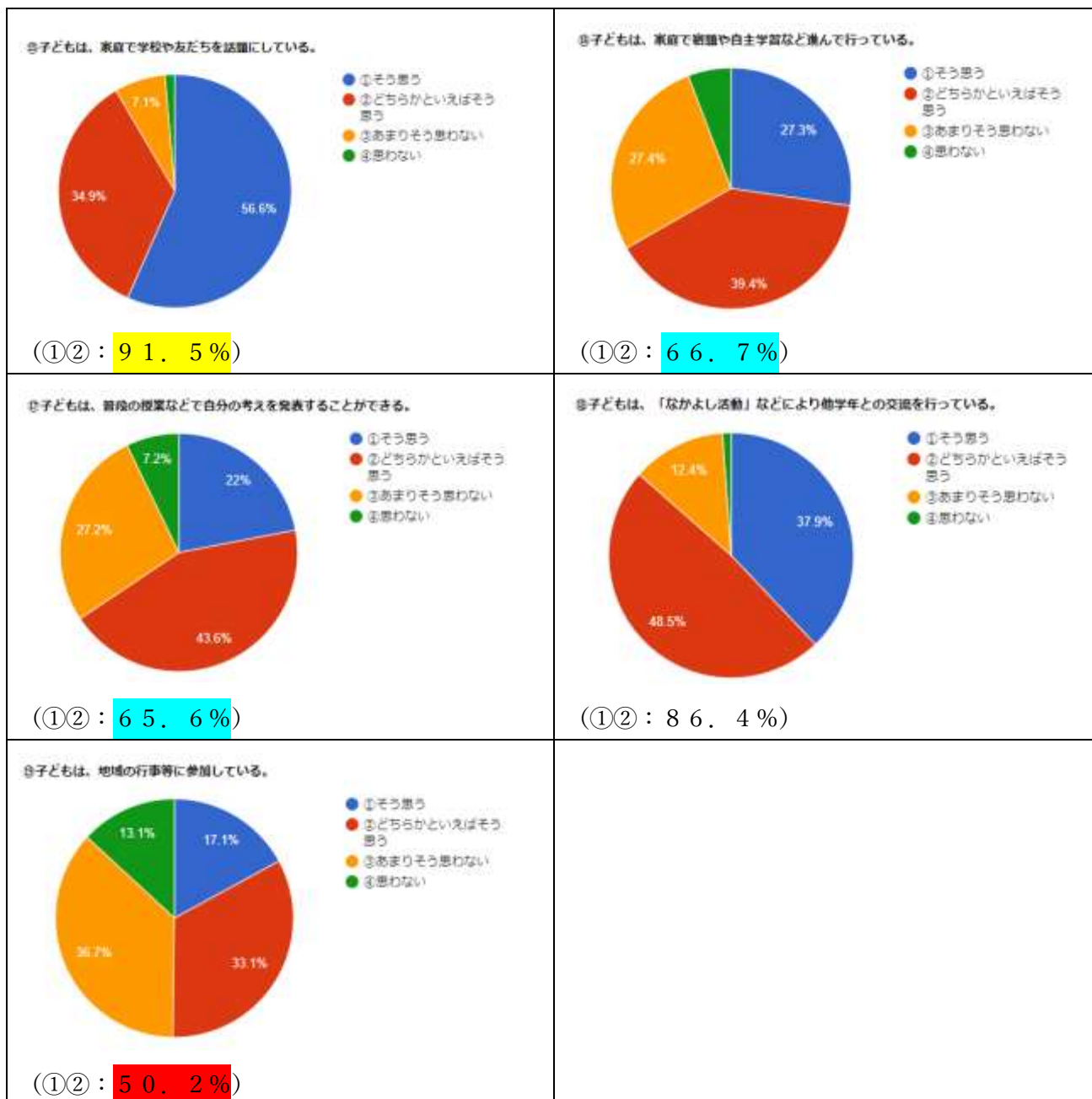


(①② : 95.1%)

⑭子どもは、学校や家庭などに相談できる大人がいる。



(①② : 96.8%)



## 2. 分析結果より

次の項目に対しては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が90%を上回り、多くの保護者のみなさまのご理解を得ることができました。来年度以降も、継続して取り組んでいきます。

- ①学校は、学校教育目標について分かりやすく伝えている。
- ②学校は、教育活動についての連絡や発信を行っている。
- ③学校は、授業参観や運動会などを通して、開かれた学校づくりをしている。
- ④学校は、PTA や学校運営協議会および地域コーディネーターと連携し、学校運営を地域と連携して行うようにしている。
- ⑬子どもは、友だちと助け合い、協力し合って仲よく活動している。
- ⑭子どもは、学校や家庭などに相談できる大人がいる。

⑮子どもは、家庭で学校や友だちを話題にしている。

次の項目に対しては、課題ととらえています。

### ○ロイロノートや Google classroom の活用について

「⑦ロイロノートや Google classroom で教員と児童と情報のやり取りを行い、子どもの学びを深めようと努めている。」に対して、「あまり思わない」「思わない」が約 24%で、昨年度より 5%ほど減りました。普段の学習活動に加えて、学級閉鎖等で学校に登校することができない際に活用する機会がありました。引き続き、教育活動の中でどのように活用していくことができるのか、検討を重ねていきます。資料活用や情報の整理、それらをもとにして思考の整理をしたり、自分の考えを表現したりする場で、子どもたちの学びの深まりが期待できる際に、積極的に活用していきます。

### ○学習の取組について

「⑯子どもは、家庭で宿題や自主学習など進んで行っている。」に対して、「あまり思わない」「思わない」が約 33%でした。また、「⑰子どもは、普段の授業などで自分の考えを発表することができる。」に対して、「あまり思わない」「思わない」が約 34%でした。本校では、令和 3 年度から「国語科」を重点研究に位置づけ、子どもたちの主体的、対話的な深い学びを推進してきました。ほかの教科、領域を含めた学校生活や日常生活全体の中から生まれた、子どもたちの「知りたい、知らせたい」「伝えたい」「やってみよう」を、国語科の学びと関連付けて取り組んできました。子どもたちの「知りたい」「やってみよう」を広げていくためにも、自主学習は有効と考えます。自ら課題を見つけてテーマを設定し、解決、表現していく力を高めていくことができるよう、引き続き、学年に応じた取組を検討していきます。また、子どもたちが、日常生活の中から自ら課題を見つけてテーマを設定し取り組んでいくには、ご家庭のご支援、ご協力も、まだまだ必要です。日常生活や社会情勢の出来事を、ご家庭で話題に挙げたり、考えを伝え合ったりする等、お力添えをいただけますよう、合わせてお願いいたします。学校でも、子どもたちが自信をもって自分の考えを発表することができるよう、日々の学習の様子を見守り、声をかけて支援していきます。

地域の行事につきましては、学年の実態に応じて、各教科・領域の学習や活動と関連付けて取り上げ、子どもたちにとって身近な地域社会に、より興味関心が広がるようにしていきます。

ご多用の中、アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。アンケート結果を踏まえ、来年度につなげていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。